

暴風雪警報発令中
通行注意

できていますか? 暴風雪 への備え



摩周湖~中標津 (平成25年1月27日)

えりも町
車43台が立ち往生! 100名以上が避難! (平成22年1月)



北海道では暴風雪災害が繰り返し発生しています

平成13年2月1日~3日

●遠別町・天塩町等

約110台の車が立ち往生 200名以上が避難

平成20年2月23日~24日

●千歳市・長沼町等

約300台の車が立ち往生 負傷者5名

平成24年11月26日~27日

●登別市・室蘭市等

送電線鉄塔の倒壊等で約5万5千戸で停電

平成24年2月15日~16日

●稚内市・幌延町等

約150台の車が立ち往生

平成24年2月21日

●雄武町

12台の多重衝突事故等 負傷者3名

平成25年3月2日~3日

●中標津町・湧別町等

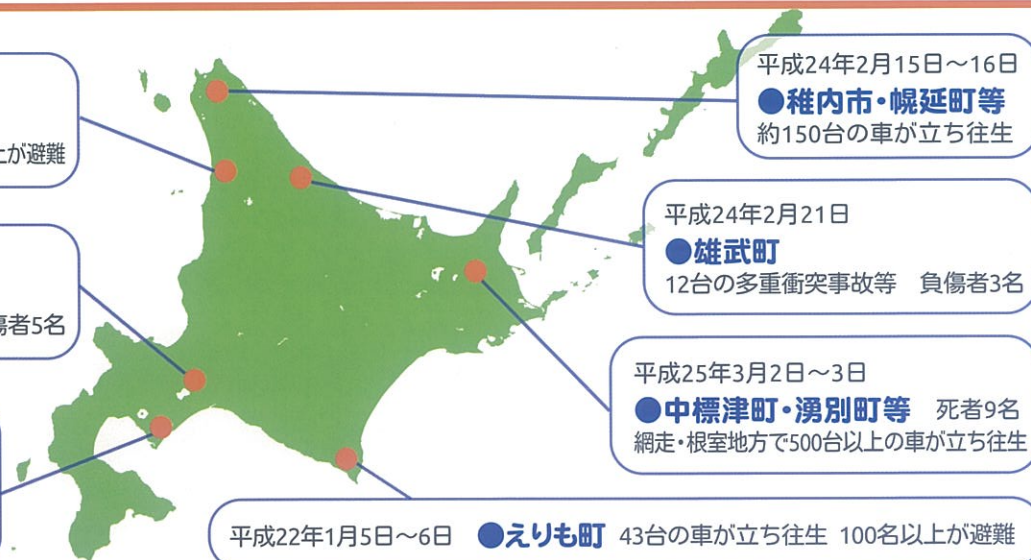
死者9名

網走・根室地方で500台以上の車が立ち往生

平成22年1月5日~6日

●えりも町

43台の車が立ち往生 100名以上が避難



！ 暴風雪が発生しやすいとき

● **暴風雪とは**
雪を伴った強い風が吹くことです。降っている雪と積もっている雪も風で巻き上げられるため、視界が真っ白となります。また、風で運ばれた雪が建物や車などでさえぎられた場所にたまる、吹きだまりが発生します。

● **暴風雪が発生しやすいとき**
発達した低気圧の通過や強い冬型の気圧配置の時に暴風雪が発生することが多く、天気図では等圧線の間隔が狭くなっています。また、低気圧の移動速度が速い場合や地形が急に開けた場所等では、風の強さや見通しが急激に変化するのも特徴です。

風は強いが晴れていると思ったら、雪を伴って一瞬で暴風雪に変わることもあるので、天気の変化には十分注意が必要です。



吹きだまりで立往生したバス 北見市常呂町(平成25年3月3日)

！ 暴風雪による被害の特徴

★ 吹きだまり

- 車の運転が大変危険になり、積雪が20cm程度でも発進できなくなる場合があります。
- 住宅では、FF式暖房機等の給排気口がふさがれると、一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。また、玄関が雪でふさがれて開かなくなることがあります。

★ 暴風や視界不良による歩行困難

- 強い風でまっすぐに歩くことが困難になります。また、雪で数メートル先も見えなくなり、方向感覚を失って自分の位置がわからなくなります。
- さらに、車からは視界不良により歩行者が見えにくくなるため、歩行するのも危険になります。
- 体温が奪われて、低体温症になる恐れがあります。

★ 暴風による飛散物

- 看板や屋根などが飛んでくる場合があります。

★ 停電

- 電線着雪や強風、飛散物などにより電線が切れるなどして、停電が発生し、照明や暖房が使えなくなることがあります。
- 天気が回復するまで復旧作業が行えず、停電が長期化することがあります。

● 道路の形状と吹きだまりの関係

道路には、まわりの土地よりも高い「盛土道路」と、低い「切土道路」があります。一般に、「盛土道路」に比べて「切土道路」では、吹きだまりが発生しやすい傾向にあります。



盛土道路と切土道路での吹きだまりの様子

● 吹きだまりでの車の発進限界

道路の吹きだまりが深くなると、車の走行が困難になることがあります。吹きだまり箇所での車の発進実験では、深さ20cmで発進困難となる事例がありました。

吹きだまりに注意し、無理のない運転を心がけましょう。20cm 吹きだまりによる車の発進限界



暴風雪で一瞬にして数メートル先が見えなくなる(右) 稚内市内(平成24年4月4日)

！ 暴風雪による被害に遭わないために

- 暴風雪による被害は、晴天から悪天へと天気が急変した時に特に多く発生しています。
- テレビやラジオなどで悪天が予想されていることを知ったときは、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。
- 暴風雪が予想されているときは、無理をせずに外出は避けましょう。

<h3>気象庁</h3> <p>http://www.jma.go.jp/</p> <p>警報・注意報 気象情報 天気予報 気象レーダー</p> <p>気象庁 検索</p>	<h3>北海道地区道路情報</h3> <p>http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/</p> <p>国道通行止情報 道内主要峠画像</p> <p>北海道地区道路 検索</p>	<h3>北の道ナビ</h3> <p>http://northern-road.jp/navi/</p> <p>道路情報総合案内 吹雪の視界情報</p> <p>北の道ナビ 検索</p>	<h3>北海道防災情報</h3> <p>http://www.bousai-hokkaido.jp/</p> <p>防災情報 避難情報 防災携帯メール配信</p> <p>北海道防災情報 検索</p>
--	---	---	---

！ **こんなときは要注意！** 気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重に警戒を！

！ 日常から暴風雪に備える

★ 家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されているときは外出を避けましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- FF式暖房機等を使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。



★ 止むを得ず車で外出するときは

- 天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。





もしも暴風雪に遭遇してしまったら…

★ 歩行中や屋外で作業中のとき

視界不良（ホワイトアウト）により方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるので…

！ 商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所へ移動して天気回復を待つ

！ 歩行中は風で飛ばされてくる物に注意する

！ 重ね着や肌の露出を少なくし、体温が低下しないようにする

★ 家の中にいるとき

FF式暖房機等の給排気口が吹きだまりでふさがれると、一酸化炭素中毒を起こす可能性があるため…

！ 給排気口がふさがれていないか確認する

！ 出入口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪する

★ 車を運転しているとき

1. 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険なので…

！ 道の駅、コンビニなどで天気の回復を待つ

！ 気象情報や道路情報を確認する

2. 途中で立往生をしてしまったときは、後続車から追突されないように…

！ ハザードランプを点滅、停止表示板を置く

！ JAF等のロードサービス、近くの商店や人家等に救助を求める

！ 避難できる場所や救助を求められる人家が近くに無いときは、警察・消防に連絡して救助を求める

3. 車内で救助を待つときは、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要なので…

！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



！ 窓を開けていても絶対安全とは言えません

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。



緊急時の
連絡先

車の故障・不具合・レッカー移動などは

JAF ロードサービス救援コール
0570-00-8139 又は #8139 (短縮ダイヤル)

車の事故・人命救助の要請などは

警察
110

消防
119

企画制作

